

喬成会 介護老人保健施設オアシス21

ミャンマー技能実習生3名(ティダ、ノーポーワ、チョッチョッカイン)

功 績 ミャンマー人技能実習生は介護と勉強を両立し母国の両親に仕送りをしながら介護福祉士を目指している。ミャンマー人3名ともに、いつも笑顔で接しており、9月感謝祭では職員笑顔グランプリの投票により最優秀賞を受賞。その笑顔でご利用者と一緒に町内のごみ拾い、認知症cafeで民族舞踊を披露するなど地域でも大変喜ばれている。地域貢献No.1である。

推 薦 者 CS委員会 三上久美子オアシス21看護師長

推 薦 理 由 オアシス21介護のあるべき姿として「どのような障害があっても愛情を持って親身に寄り添うケアで明るく元気になれると注目され、待機者が殺到している。」という介護部の理念実現時の姿に邁進しており、ご利用者や職員、そして地域からの信頼も篤く、ここに推薦致します。

内 容

ミャンマー人3名(ティダ、ノーポーワ、カイン)はオアシス21に勤務して1年半が経ちました。当初は日本語がうまく話せず苦勞していましたが、徐々に日本の生活にも慣れて介護と勉強を両立させ、母国の両親へ仕送りをしながら、介護福祉士を目指しているところです。

自身の生活も多忙な中で、笑顔を絶やさずにケアをしており、9月の感謝祭では職員笑顔グランプリを受賞。利用者さんから「いつも優しくしてくれてありがとう。」などお礼のメッセージカードを幾つもいただきました。また、同グループの地域包括支援センター主催の認知症cafeにおいてミャンマー民族舞踊を披露。日本語の挨拶を交えてミャンマー語を教えるなど好評であった。来月も参加依頼があり、介護の試験を控えているが快く引き受けています。さらに、町内会のゴミ拾いも定期的に参加。ご利用者主体でマジックハンドを使用してのゴミ拾いで楽しく朗らかに対応して、利用者さんの生きがいにもつながっている。

ミャンマー人3名は元気で笑顔を絶やさない優しいケアが模範の職員となっている。withコロナにおいて感染対応しながら、積極的に地域活動に尽力をつくした功績はとて大きく、地域に勇気と元気を発信している。

今回、ティダ、ポーア、カインの3名を理事長賞に推薦します。